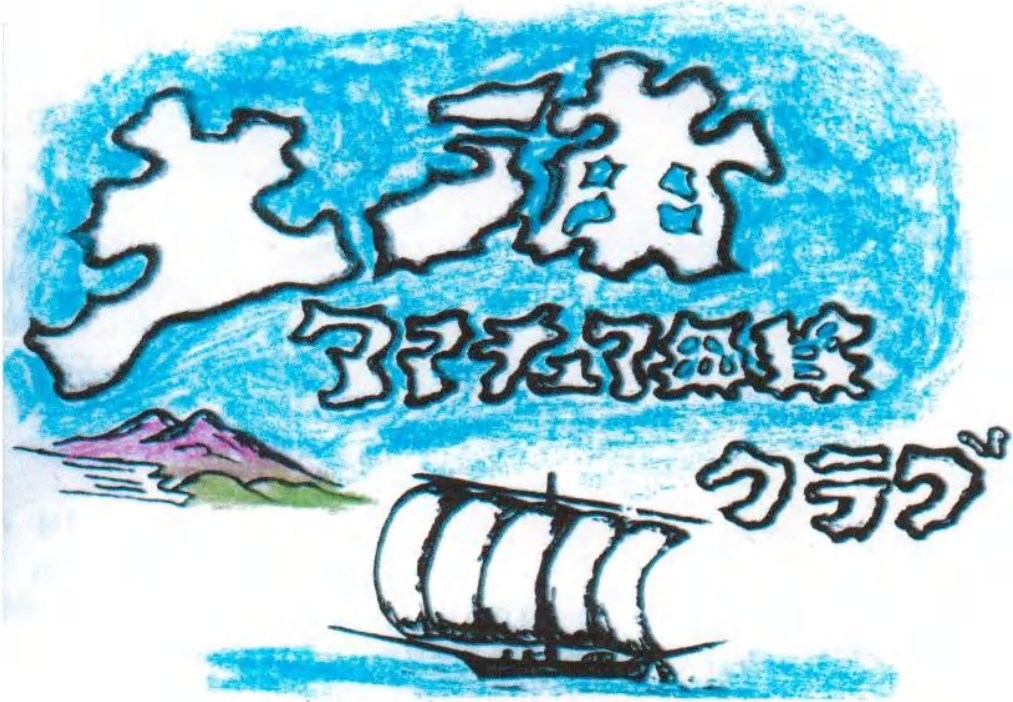




全国日本アマチュア無線連盟



土浦アマチュア無線クラブニュース 平成23年2月号

お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

- ★ 新春恒例ボーリング大会がもう直です！！ お忘れにならないように
日時： 2月6日（日） 9時30分集合 10時スタート
場所： 大学ボール
会費： 千円（一人）
申込みは、役員宛にお願いします。

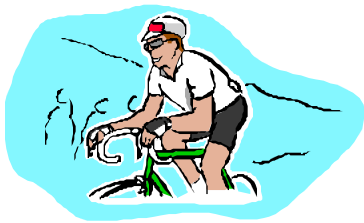
- ★ 2月12日（土）午後7時から二中地区公民館にて役員会を開催します
役員の皆さん、万障繰り合わせの上、出席をお願いします。

- ★ 新企画 茨城県支部主催「いばらきハムの集い」が開催されます—参加自由
各クラブの活性化をねらい青年の家に集い意見交換やジャンク市などを開催
します。地元開催なので各局の協力、参加をお願いします。
日時： 平成23年2月20日（日）
10:00～12:00 クラブ活動展示・ジャンク交換、販売
13:30～16:00 支部報告（質疑、意見交換）、講演会、抽選会
場所： 茨城県立中央青年の家
昼食： 必要な場合は JG1WMN 葛綿さんまで申し込んでください。

- ★ 土浦アマチュア無線クラブ総会、レピータ局管理団体総会
下記日程にてクラブ総会を開催しますので多くの参加を御願ひ致します。
日時： 3月20日（日） 時間： 13:00
場所： 二中地区公民館
クラブ総会終了後、土浦レピータ局管理団体の総会を開催します

- ★ 第30回賀詞交歓会が開催されました
1月15日（土）、「ひぬま荘」クラブからの参加者は、JA1EHQ、JA1IOA、
JA1PBV、JE1RLK、JF1MFE、JG1OSX の6名でした。





サイクリング

副会長 JE1RLK 田中 文之

12月19日(日曜日)、急に思い立ち、県内地図を見ていて、自転車道と表示はありませんが、走れそうなので行くことにしました。

場所は、小貝川、下妻～水海道コースです。

家を出たのが 09:30 東大通りを下妻むけ出発です。

小貝川についたのが 10:00、途中顔と指先の冷たいこと、参りました。

コースに入り日が昇ってくると、暖かくなり快適でした。

自転車だとスピードが遅いので、車の時と違い新しい発見があり、また違った雰囲気があじわえます。

途中舗装が切れ、土手が無くなってしまいました。

自転車が、バーストしては困るので、自転車を押して歩きました。



ここは豊里 GC を迂回するような形です。

ここをすぎると、のどかな田園地帯です。

その後ひたすらペダルをふみ、副岡関へ。

やっと見慣れた風景になり国道 354 へここで食事を取ることになりました。

ここに、関焼きそばと云う小さな店があり、60 がらみのおばちゃんが、切り盛りしていました。

やきそばしかメニューにないの、でそれを頼んで食べ、世間話を楽しみ家路につきました。

家に着いたのが 14:00 頃、走行距離は 67Km でした。

最近考え方が少し変わってきました。初めは健康の為に、始めたつもりでしたが、これをする為には **健康でなければだめだ**と、思うようになりました。

(この原稿は 12 月に頂いていましたが、紙面の都合上、今月掲載となりました)

全市全郡コンテスト審査会取材しました

CQ ham radio 編集部 JA1CCN 沖田 康紀

1月中旬に行われた、第31回全市全郡コンテストに提出されたログの審査会の取材に行ってきました。コンテスト・ログがどのようにして審査されて順位が決められるかをご存知の方はほとんどいらっしゃらないと思います。ここで、大まかにそれをご紹介します。

● 審査の流れ

コンテスト終了から順位の発表までは、大まかに次のような過程があります。「コンテスト終了後ログの提出」→「JARLに届いた紙ログを整理」→「電子ログは機械的に処理され、紙ログの中で局数が多いものはJARLコンテスト委員が電子ログに入力する」→「コンテスト審査会が開かれ残りの紙ログのチェックを行う」→「順位発表のための事務作業を行い、はじめにJARL WEBで発表」→「JARL NEWSで発表」

● ログの審査方法

提出された電子ログと電子化された紙ログは、1QSOずつ機械的にチェックが行われます。ここで交信した局同士のデータが照合され、ミスコピーがあれば減点されます。このため、提出したログと発表された点数が違うことも十分あ

りえます。

さらに紙ログも1通ずつ内容をチェックし、ミスコピーや国内に発給されていないコールサインがないかなどを確認します。その結果、減点や場合によっては加点されることもあります。

● コンテスト審査会からのお願い

コンテスト委員会の方から参加者の方へのお願いを伺ってきました。それは、できる限り電子ログで提出して欲しいとのことでした。公正な結果を出すためには、交信データを電子化することは不可欠です。ぜひご協力いただきたいとのことでした。

提出された紙ログの約半数は、テキストデータをプリンタで印刷したものだそうです。コンピュータを使える環境の方は、ぜひ協力をお願いしたいとのことでした。

● 取材を終わって

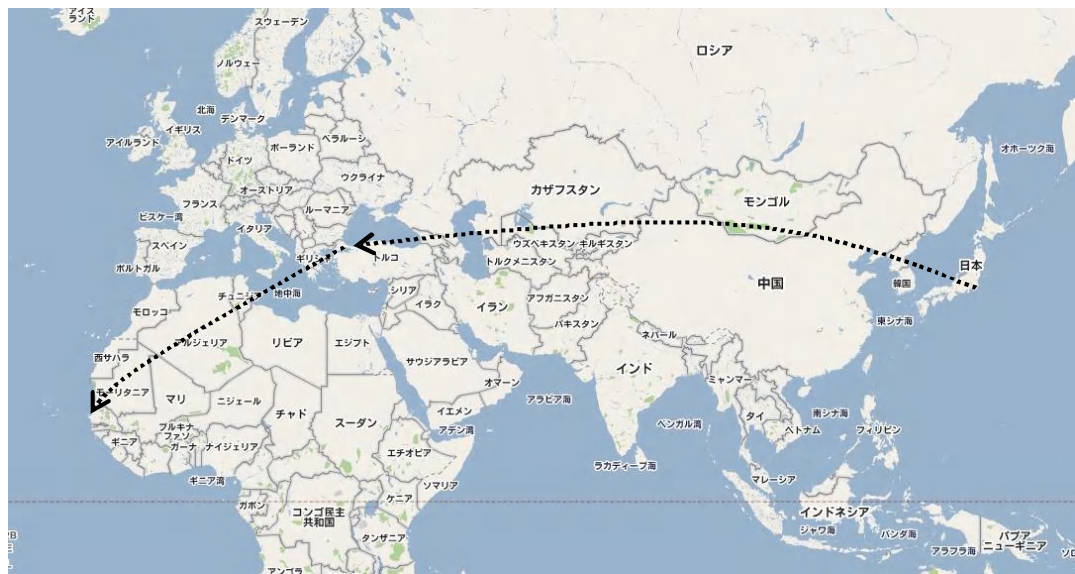
コンテストの審査には、にはたくさんボランティアが協力し（JARLの職員は審査に参加しない）、そのおかげでコンテストを楽しめることを実感できました。

詳細は、本誌4月号の付録に掲載を予定しています。ぜひご覧ください。

長旅を終えて

JA1PBV 伊藤 寧夫

昨年の5月に支援で出かけたギニアビサウでのやり残しと無線運用目的で出向いたカーボベルデを再訪しようと旅を計画しました。また、空路の関係で中継地のトルコも再訪することにしました。また、アフリカ内での中継地のセネガルでも免許取得を欲張った計画となってしまいました。



12月11日、成田を発って最初に降りたのが最初の中継地のトルコ。ここでは乗り継ぎのために一泊するだけ。今回、使用した航空会社のサービスで無料宿泊です。雪混じりの雨にあい、夏スタイルの私にとってはとても寒かったですね。でも、12時間を越える空の移動の休息のためには十分でした。

翌日、第二の中継地であるダカール（セネガル）に向かいました。7時間の空路、二日間で20時間程機内で過ごすことに。

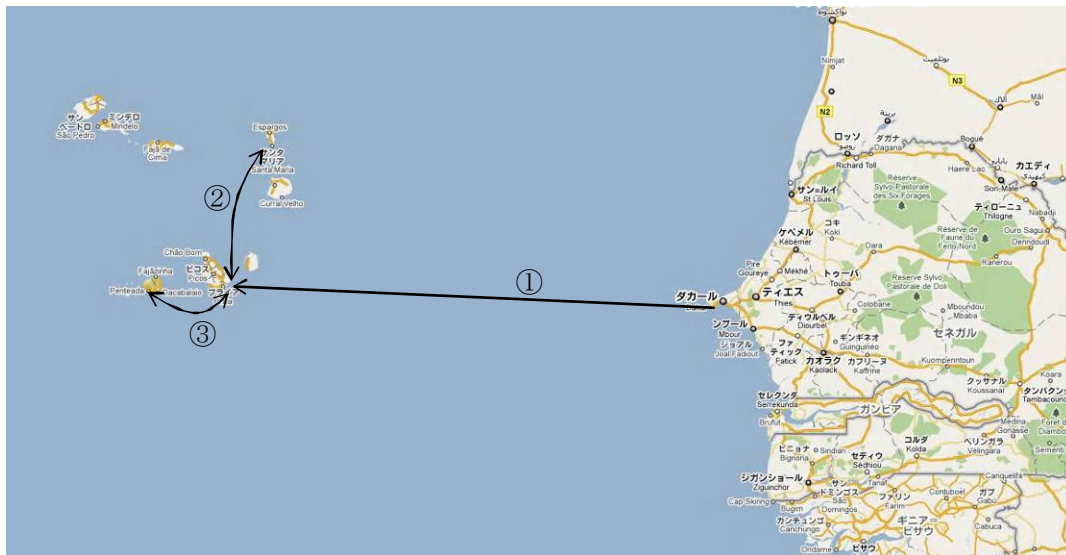
ダカールでは免許の申請に二日間いることにしました。宿の予約はしていなかったので、一昨年に使ったホテルに駆け込みました。早速、空港で使ったタクシーを呼んで免許申請をするために出かけました。インターネット上で調べた住所に向きましたが、空室だらけのビルとなっていました。言葉はフランス語、私にとっては何度か聞いているので、後は度胸で移転先を聞きまわる。ガードマンの記憶を頼りに更にタクシーで移動する。周辺で聞きまわり、やっとの事で事務所に到着。

しかし、この事務所は取次ぎをするだけとの事。でも、偶然、通りかかった方が非常に親切にしてくれて申請のアドバイスを頂きました。申請書は手書きが条件、でも、私にはフランス語で文章を作ることなんて出来ない。そう、インターネット上で調べたサンプルがあったことを思い出し、早速、書くことに。(後に、この申請書が問題になる)

経理部門に行き免許料の支払いと領収書を貰い、来年取りに来ると伝え、受付に提出しました。

12月14日、ダカールを出て最初の目的地であるカーボヴェルデへ。しかし、また、

問題が。後で判ったことだが、セネガルの軍の高官が乗っていたらしく、物々しい警戒と遅着。降機した飛行機の周りでは吹奏楽の演奏と敬礼のラッシュ。クリスマス期の満員の機は5時間遅れでやっとダカールを離れました。①



1時間程でカーボヴェルデの首都プライア（PRAIA）に到着。ここも宿の手配をしていなかったのので、前回、利用した宿に向かう。未だに工事中でブロックむき出しのホテルの一室を確保。顔なじみがいて再会を祝う。（ポルトガル語、、挨拶程度はok）

翌日は免許の申請で出向く。前回は、担当の方がインドに出張中で手にすることは出来なかったが、今回はお会いすることが出来た。前回、お会いした秘書の方は、私が送った e-mail を全て印刷し、ファイルしてしてくれた。担当の方は、JICA の招きで日本に来たそうで、私に非常に好意的に接してくれました。世間話をしている間に、免許が作成され、サインをするだけになっていました。私だけかもしれませんが、無料での発行でした。



Sadao "Dan" ITO
D44TBV (JA1PBV)

David Gomes
Chairman of the Board

Marise F. Lima
Cabinete de Apoio ao Conselho

免許が手に入りましたので、島巡りの実行です。最初に行くのは、SAL 島。その後は、島に行ってから考えることに。



12月16日、プライアを後にSAL島に向かいました。ここも宿の予約は無い、タクシーで観光地のサンタマリアに移動。ドライバーの進めるホテルに到着。部屋の確保は出来たが、アンテナを建てる場所の確保を行う。敷地内の二階建ての建物の屋上が良さそう。マネージャーを呼んでいただき早速交渉を。アマチュア無線を知る方は殆どいないのが外国。漫画を書いて説明し、許可証を書いてもらう。海辺に面した立派なホテルなので、美観を大事にしている。無論、掃除を始めとして手入れが行き届いている。宿泊客もヨーロッパ人が多く、釣竿2本のアンテナと同軸ケーブルの引き回しを、

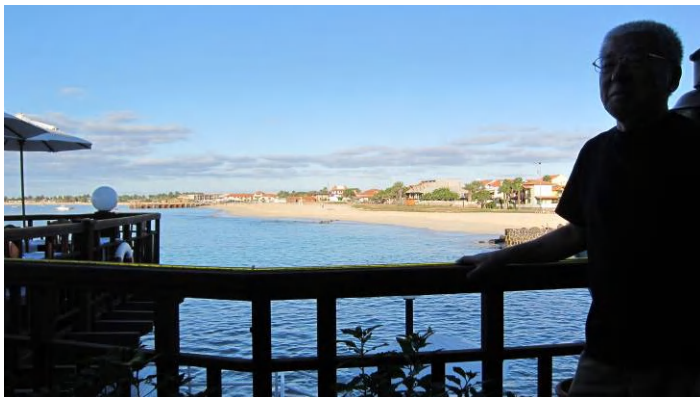
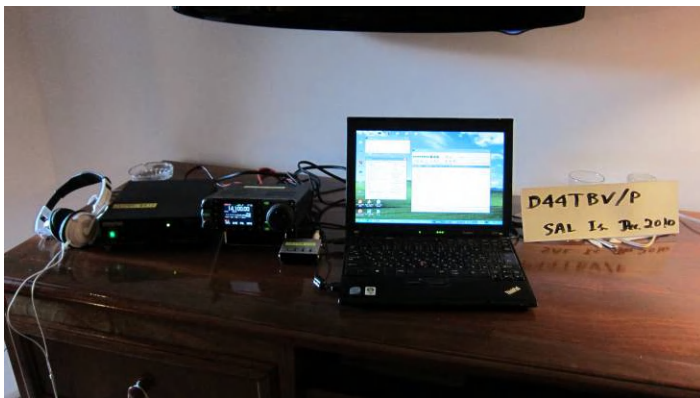
咎められるかと思いきや皆さんに寛大な扱いをして頂いた。



矢印の位置が、釣竿です。

とても、小さな島ですが、大変、快適な時間を過ごしました。

ページが残り少なくなりましたので、次の機会に続編を書きます。



皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

| | | |
|----------------------------------------------|----------------------|---------------------|
| 平成 23 年度 第 11 号 | 通巻 423 号 | JARL 登録番号 14-1-0018 |
| 発行日：平成 23 年 2 月 1 日 | 発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局 | |
| オンエア ミーティング：毎週月曜日 PM9：00～ 土浦レピータ (439.70MHz) | | |